

はつらつ体験塾 通信



第3回はつらつ体験塾日帰りミニキャンプ 号 令和5年11月27日
新潟県少年自然の家

初めての活動で、心もおなか也大満足！

11月10日（金）に、「第3回はつらつ体験塾 日帰りミニキャンプ」を実施しました。今回は平日での開催でしたが、初めて参加する子どもも大変多く、保護者や適応指導教室の指導員も含めて合計24人での実施となりました。当日の様子をお知らせします。

【日程】

9:30	9:45	9:50	10:20	12:20	13:20	14:45
受付	出会のつどい	レクリエーション	うどん打ち	昼食	ネイチャーゲーム	別れのつどい

出会のレクリエーションでは、班ごとに円くなって手を繋ぎ、繋いだ手を離さないようにフラフープをくぐり、次の子へと送る「フラフープリレー」を行いました。はじめはフラフープを送るのに苦戦していましたが、手をつないでいる隣の子と息を合わせることで、どんどん早く送ることができました。繰り返すたびに、班の繋がりも深まったように感じました。

レクリエーションで打ち解けた後は、「うどん打ち」の活動をしました。小麦粉に塩水を入れて混ぜていくと、少しずつまとまってきました。それをよくこねて生地にしてから、袋に入れてふむむことで「こし」を出していきます。しばらく寝かせてから薄く伸ばし、細く切ります。初めてうどんを打つ子どもが多く、生地の感触を楽しみながら、班ごとに協力して作業を進めました。



茹で上がるまでの時間は、班ごとに「カプラ」という積み木を高く積むゲームをしました。みんなとても上手で、大人の身長よりも高く積み上げる班もありました。茹で上がったうどんはつやつやしていて、出来上がったうどんを食べると、もちもちとしていてとてもおいしかったです。みんな大満足でした！



午後の活動は、「ネイチャーゲーム」の雨天案として、所員お手製の「モルック」を行いました。全員が初めての体験でしたが、すぐにルールを覚えて、楽しく活動していました。「8本も倒したぞ。」「あと7点で50点になるから・・・」と班の子どもと相談したり協力したりしながら、ゲームを進めていました。小雨が降り、肌寒い外での活動でしたが、上着を脱いで活動するほど熱中している子もいました。



参加した子どもたちの中には、「次も参加したい」という声がたくさん聞かれ、次回の案内チラシをもって帰る子もいました。ぜひ次回もたくさんの子から参加していただきたいです！

はつらつ体験塾担当：天木 享 星野 貴之